

千六百人が参加防災訓練

町総合防災訓練が9月6日の日曜日に町内全域を対象として行われ、1600人が参加しました。

この訓練は毎年9月1日の「防災の日」に行われていたが、一人でも多くの方に参加していただくとうと、今年は日曜日に行ったものです。

今回の訓練は、大地震のあと火災や津波などの災害が発生した



消防署レスキュー隊による救助訓練

という想定で、避難訓練が中心になりましたが、主会場となった町文化会館では避難訓練終了後、消防署レスキュー隊による救出訓練や、消火訓練なども行われ参加したみな

寄付ありがとうございました

東京都に住んでいらっしゃる大橋進さんから「まちづくりのために使ってください」と、10万円の寄付がありました。ありがとうございました。

また、町の社会福祉協議

会へ北清水地区から7万7千110円、千葉土建横芝分会から3千円の寄付がありました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



地区防災会による避難誘導

さんも熱心に取り組んでいました。幸いにして、私たちの町で



新しく配属されたポンプ自動車

大きな災害は起きていませんが、いつ起きるか予測できないのが災害です。関東大震災のような大地震が発生した場合、少しでも被害を少なくするために、
「自分たちの地域は自分たちで守る」
意識のもと、このような地道な訓練の積み重ねと、日頃からの備えが大切ではないでしょうか。

9月15日、町消防団第5分

団第4部（於幾・実川裕宣部長）と第5分団第6部（谷台・鈴木浩部長）に小型ポンプ付き積載車が、また、第1分団第1部（立合・小野秀明部長）と第1分団第2部（南川岸・伊東重光部長）には小型ポンプ積載車（4WD）がそれぞれ配属されました。

小型ポンプ付積載車を 4台配属（於幾・谷台） （立合・南川岸）



町長から伊能団長に配属書が渡されました

これは、今までに使っていたポンプ自動車（古くなったため、新たに町が購入して配属したものです。立合・南川岸地区に配属された4WDの積載車は、海での事故などを考慮し、今回初めて購入したものです。団員のみなさんは、取り扱いの説明を受け、早速試運転を行い、消防機庫におさめました。